

時期	年間通して	時間	5日程度
難易度	☆☆☆	対象	どなたでも

海藻標本作り(SWS)



<活動の概要>

磯観察で見つけた海藻を標本にすることで、海藻の名前や分類分けを学習し、より海の自然に親しむことができます。

また自然環境やその保護について考えるよい機会をなします。

「海」を素材としたオリジナルな標本をつくりましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- ・海藻標本の作り方を体験する。
- ・海藻の名前や種類、特徴などについて理解を深める。
- ・海藻のできる海の環境について考える。
- ・準備から後片付けまで協力してやりきる。

準備物(1人あたりに必要な数量)

自然の家で準備しているもの (こちらでご用意している数)			団体で準備するもの	
用具名	場所	個数	用具・材料名	個数
プラスチックバッド(小)	海の学習室	18枚	標本にする海藻	適宜
プラスチックバッド(大)	海の学習室	12枚	長靴(海藻採集時)	1足
海の学習室用ピンセット	海の学習室	35本	金属製のヘラ、マイナスドライバーでも可能 (海藻採集時)	1個
バケツ(海藻採取時)	ピロティ	18個	軍手(海藻採集時)	1双
はさみ	事務室	多数	台紙(ケント紙又は画用紙)	1枚
			のりまたは木工用ボンド	1個
			※木工用ボンドは食堂でも注文・販売しています。	
			さらし木綿	
			押し板・おもし(厚い本やまな板等で代用)	1枚
			新聞紙	適宜
				適宜

※自然の家で準備している活動用具の数は「利用ガイド～資料編～」にも記載されています。

準備の際の参考にお使い下さい。

※海の学習室・食器棚には鍵がかかっています。鍵は事務室で貸出可能です。事務室にてお声かけください。



手順

- (1) バットに水道水を入れ海藻を浸します。
(塩抜き10分ぐらい)
- (2) はさみで海藻の大きさを調整します。
- (3) 台紙をバットの中に沈め、海藻を台紙にのせて引き上げてピンセットで整えます。
- (4) 台紙を新聞紙の上にのせます。
- (5) 台紙の上にさらし木綿をかけ、その上に新聞紙を重ねます。
- (6) 最後に押し板をのせ、重しをのせます。
- (7) 当日にもう1回、2日目に2回、3日目以降1日1回新聞紙を交換します。
(5日程度で乾きます。)
- (8) 台紙でくっついていないものは帯紙で止め、のりや木工用ボンドで貼り付けます。
- (9) 採集場所と採集年月日を記入しましょう。(完成！)



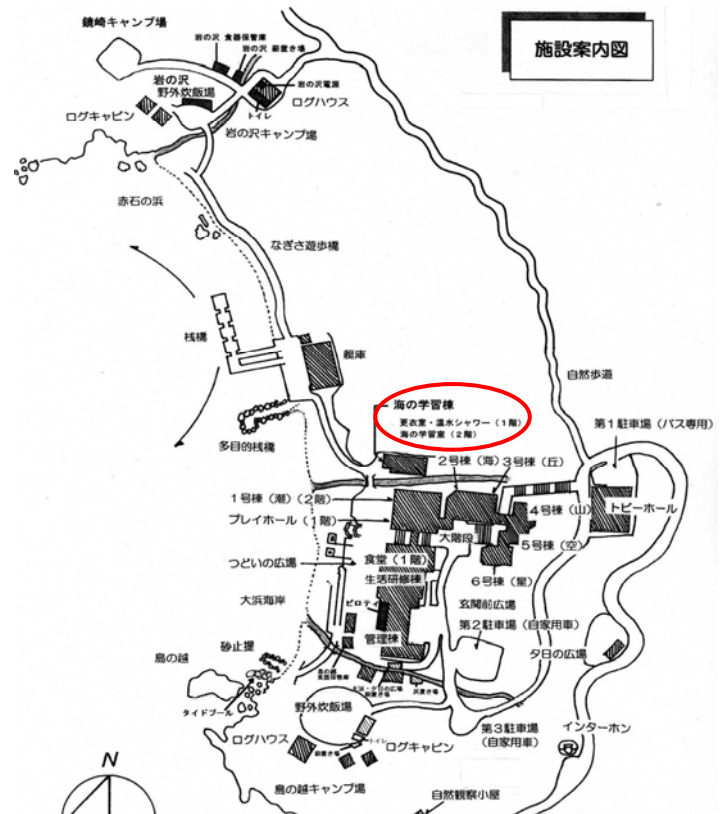
活動場所: 海の学習室

・海の学習室

※海の学習室には鍵がかかっています。

鍵は事務室で貸出可能です。事務室にて

お声かけください



ふりかえりの視点

- 海藻標本作りを通じて、海藻の名前や種類を調べ、海藻に興味、関心を持つことができたか。
- できた作品をお互いに見合うことで、それぞれのよさに気づくことができたか。
- 協力して、準備、後片付けができたか。

指導上の留意点

- 必要な分だけ海藻を採集してください。
- 磯は大変すべりやすく怪我をしやすいので、長靴を履きましょう。
- 海藻はできるだけ根元から全体を採りましょう。
- 海の学習室を使用される場合は、事前に事務室で使用可否の確認、合鍵の受け取り・返却が必要です。
- 海の学習室の使用後は、室内・流し台の清掃をしてください。
- 活動で生じたゴミは分別し、自然の家が指定する場所に廃棄してください。

国立若狭湾青少年自然の家 プログラム集 クラフト編 修正版:H30.1

作成:平成29年3月 国立若狭湾青少年自然の家 〒917-0198 福井県小浜市田島区大浜

執筆:田辺 典生(事業係員) 今井 清継(企画指導専門職) 池田 洋平(事業係長) 飯田 一弘(総務係主任)